

【2】行動分析および【3】支援例

平成 年 月 日 () 年 組 番 氏名

④	読むことが苦手な場合
行動分析	1 ことばや単文レベルでの意味の理解が難しい(年齢相応の語彙力がない)
	2 部分と部分(または全体)との関係を理解することが難しい
	3 書かれている内容について推測することや意図を推し量ることが難しい
	4 それまで読んできた内容をストックしておきながら読み進めることが難しい
	5 文字がゆがんで見えるなど視覚的な課題がある



支援例	ア 文章を絵にしたり、段落関係を図式化することで、読解の援助をする
	イ あらかじめ意味の分からない語句などを想定して意味が分かるようにしておく
	ウ 生徒から本や文章の粗筋を聞きながら、個別に内容について話し合う機会をつくる
	エ 文章のキーワードを教師が指摘して、○で囲ませたり、チェックを入れさせたりする
	オ 選択肢で読解のヒントを与えたり、主題を選ばせたりする
	カ 行間を空ける、文字を大きくする
	キ 書かれている内容を簡潔にまとめる

⑤	計算が苦手な場合
行動分析	1 数の概念を理解していない
	2 言語理解力の不足、記憶力が弱い
	3 視覚認知(空間的な位置関係を把握すること)が弱い
	4 抽象的に考えることが難しい



支援例	ア 計算のどの段階でつまづいているか個別に確認する
	イ 繰り上がった数や繰り下がった数など、計算途中の数をメモする場所を決めておく
	ウ 計算方法をカードなどに作成し、マニュアル化する
	オ マス目や枠がある用紙を使用し、位取りをしやすくする
	エ 文章題では文章の意味が分からないのか、それに基づいた計算の仕方が分からないのか等、個別に確認する

⑥	推論することが苦手な場合
行動分析	1 記憶力が弱い
	2 抽象的に考えることが難しい
	3 論理的に考えることが苦手である
	4 イメージをして、推測することが苦手である
	5 順序立てて物事を考えるのが苦手である



支援例	ア どの段階でつまづいているか個別に確認する
	イ さまざまな例を示すことで、論理化や抽象化のパターンを示し、それを利用して考えるように教材を工夫する
	ウ 考えや取り組むことを書き出すことで視覚化させ、それをもとに優先順位や重要さの順に並べさせる
	エ 要点やポイントになる言葉に印を付ける
	オ ポイントになることを絵や図に書いて、視覚的に示す